

社会科学習指導案

平成22年10月15日（金）～11月2日（火）

中学校 2年□組

場所 2年□組教室

指導者 大澤 智

I 単元名「アジアの日本から世界の日本へ」

II 単元の考察

1 生徒の実態

(1) 社会的事象への関心・意欲・態度

戦国時代や江戸時代の人物や出来事は、漫画やテレビ、ゲームなど多くのメディアで取り上げられていることもあり、生徒の興味・関心は比較的高い。ところが、明治時代の学習に入ると、なじみのない人物や様々な出来事が増えたり、諸外国とのかかわりが複雑になったりすることから、歴史に対する興味・関心が低くなる生徒も少なくない。態度の面では、学習課題やプリント学習などに黙々と取り組む真面目な生徒が多い。

(2) 社会的な思考・判断・表現

写真や絵図、表やグラフなど資料から読み取ったことを、自分なりの言葉で書いたり、書いたことを基に意見を交流したりすることが、徐々にできるようになってきている。しかし、複数の資料を比較・関連させて考察したり、歴史の流れの中で、歴史的事象を関連付けて考えたりする力は、まだ不十分である。また、歴史的事象を多面的・多角的にとらえて、複数の事象と関連付けて考察したり、考察した結果を適切に表現したりする力が十分身に付いていない。

(3) 資料活用の技能

グラフ、表などの資料からその傾向や特徴を読み取り、気付いたことや分かったことを表現する技能は、徐々に高まってきている。しかし、課題を追究するときに根拠となる資料を見付けたり、資料から課題を解決するために必要な情報を読み取ったりすることができる生徒はまだ少なく、課題と関連させながら資料を活用する力が十分身に付いていない。

(4) 社会的事象についての知識・理解

単元末のミニテストや定期テストの結果から、その時代の重要人物や重要な出来事を問う問題では、クラスの約8割の生徒が、70%から80%の正答率であった。このことから、多くの生徒は、前時代の江戸時代における基礎的な知識は身に付いていると考えられる。しかし、事象と事象を関連付けて時代の特色を理解したり、歴史の流れをつかんだりする力は十分身に付いているとは言えない。このようなことから、歴史的事象の意味や意義を理解することに関しては、課題が残る。

2 単元観

本単元では、19世紀後半、帝国主義が勢力を拡大する中、日本が独立主権国家を目指して、急速な近代化を推し進め、欧米諸国と対等な外交関係を樹立した明治後半期の光と影の部分について学習する。ここでは、戦争の勝利、領土や資源の獲得、産業・科学技術の発達など、様々な努力によって国力を充実させ、国際的な地位を向上させたことによって、日本が条約改正を成功させたことを理解させたい。また、急速な近代化の影で、軍事費のための増税や工場における長時間労働、公害の発生などの社会問題が生じたことを理解させたい。このような学習を通して、生徒は、明治期の日本人の様々な努力によって欧米諸国と対等な関係が築かれたこと、先進国として国際社会の舞台で活躍する現在の日本の原点が明治期にあること、急速な近代化の影で、国民の負担や苦勞、犠牲があったことに気付くことができるであろう。

本単元では、「なぜ、日本は条約改正を成功させることができたのだろう」という単元の課題を設定する。そして、その原因・理由について戦争の勝利、領土や資源の獲得、産業・科学技術の発達など、様々な視点から追究し、単元の課題と歴史的事象との関連を考える。また、同様に、これら複数の歴史的事象間の関連についても考える。このような学習を通して、生徒は、歴史的事象を多面的・多角的にとらえて関連付ける力を高めることができると考え、本単元を設定した。

本単元は、次単元「世界情勢と大正デモクラシー」へと発展する。この単元では、第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、日本国民の政治的自覚の高まりと文化の大

衆化などを通して、第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと大戦後に国際平和への努力がなされたことを学習することになる。

3 指導方針

＜单元全体を通して＞

- 写真、絵、図、表、グラフなどの資料をプレゼンテーションソフトを活用して大きく、効果的に提示することによって、生徒が興味・関心を高めながら学習に取り組めたり、歴史的事象の理解を深めたりすることができるようにする。
- 予想や追究結果などについて自分の考えを早くもつことができた生徒に、それらを黒板に書かせたり、発表させたりする場を設けることによって、自分の考えをもてない生徒に自分なりの考えをもてるようにしたり、書けた生徒も自分の考えを広げられるようにしたりする。

＜つかむ過程＞

- 単元の課題と年表中の歴史的事象の関連を予想し、その理由を伝え合う場を設けることによって、様々な視点から関連付けられることに気づき、歴史的事象を多面的・多角的にとらえられるようにする。

＜追究する過程＞

- 資料から気付いたことや調べたことを発表させ、それに対して、さらに掘り下げる発問をすることによって、単元の課題と関連付けられる歴史的事象の原因や結果・影響について詳しく読み取れるようにする。
- 「つかむ過程」で関連を予想した歴史的事象を追究し、追究した歴史的事象と単元の課題の関連を付箋を使って図に表現し、それを基に一、二文にまとめる活動を繰り返し取り入れることによって、歴史的事象を関連付ける力を高められるようにする。

＜まとめる過程＞

- 「追究する過程」で作成した歴史的事象と単元の課題の複数の関連図を一つの单元全体図にまとめ、单元全体を通して広い範囲で歴史的事象間の関連付けを行う活動を取り入れることによって、歴史的事象を多面的・多角的にとらえて関連付ける力を高められるようにする。

Ⅲ 目標と評価規準

1 目標

「なぜ、日本は条約改正を成功させることができたのだろう」という単元の課題と明治後半期の歴史的事象を関連付けることを通して、戦争の勝利、領土や資源の獲得、産業・科学技術の発達などから国力を充実させ、国際的な地位を向上させたことで日本が条約改正を成功させたことを理解する。

2 評価規準

関心・意欲・態度	単元の課題に関心をもち、単元の課題と関連付けられる歴史的事象について教科書や資料集、その他の資料などを活用しながら意欲的に調べようとしている。
思考・判断・表現	単元の課題と明治後半期の歴史的事象の関連について考察し、関連付けた結果を図や文に表現している。
資料活用能力	単元の課題と関連付けられる歴史的事象について、様々な資料からその歴史的事象の原因や結果・影響などを読み取っている。
知識・理解	戦争の勝利、領土や資源の獲得、産業・科学技術の発達などから国力を充実させ、国際的な地位を向上させたことで日本が条約改正を成功させたことを理解している。

Ⅳ 指導と評価の計画

過程	時間	主な学習活動 【 】は表現活動の段階	支援及び留意点	評価の観点・評価の方法・評価項目 ◆：おおむね満足できる ◇：十分満足できる
		○日本が独立主権国家になるためには、条約改正が大きな課題であったことを確認する。	○日本にとって条約改正が大きな課題であることをとらえられるようにするために、ノルマントン号事件や国内産業の不振を通して、治外法権を認めることや関税自主権がないことが、独立主権国家を目	【関】（観察・ノート） ◆独立主権国家になるために条約改正が大きな課題となっている明治期の日本に興味・関心を示しながら聞いている。 ◇独立主権国家になるために条

つ か む	1	○政府の近代化政策を復習しながら、改正交渉の経過と明治の終わりに条約改正に成功したことについて説明を聞く。 ○明治の終わりに条約改正に成功したことをとらえられるようにするために、明治の近代化政策が書かれている年表に条約改正交渉の結果を重ねて提示する。 指す国としては大きな欠陥であったことを説明する。 約改正が大きな課題となっている明治期の日本に興味・関心を示し、気付きや感想を発表しながら聞いている。	
		単元の課題：なぜ、日本は、条約改正を成功させることができたのだろう。	
		○単元の課題と年表中の歴史的事象の関連を予想し伝え合う。【段階①】	○予想を立てやすくするために、「日本がどんな国になったから欧米は条約改正に応じたのか」と異なる視点から課題を投げかける。 ○予想の数が少ない生徒が様々な視点から予想できるようにするために、周りの生徒と自分の予想を発表し合わせる。 【思】（ワークシート） ◆単元の課題と年表中の歴史的事象の関連を二つの視点から予想してノートに書いている。 ◇単元の課題と年表中の歴史的事象の関連を三つ以上の視点から予想してノートに書いている。
追		検証①「つかむ過程」において、単元の課題と年表中の歴史的事象の関連を予想し、それを伝え合う活動を行うことは、歴史的事象を多面的・多角的にとらえられることに気付かせるのに有効であったか。	
		日清戦争は、条約改正を成功させるのにどのように役立ったのか。	
		○日清戦争の原因・結果・影響について調べ、発表し合う。 ○日清戦争と条約改正の関連について考え、二つの事象を関連付ける。【段階②③④】	○戦争の原因・結果・影響をとらえられるようにするために、日清戦争の風刺画、日清戦争の図、下関条約、賠償金の使い道のグラフなどの資料から気付いたことや調べたことを発表させ、それに対してさらに、掘り下げる発問をする。 ○日清戦争と条約改正を<u>つなげる事象（キーワード）をすべて指定して付箋に書かせる</u>。そして、それらを矢印でつなげさせ、日清戦争と条約改正の関連を図に表現させる。また、この図を基に文にまとめさせる。 【資】（観察・ノート） ◆友達と意見交換しながら、日清戦争の原因・結果・影響を教科書や資料集などの資料から読み取っている。 ◇日清戦争の原因・結果・影響を教科書や資料集などの資料から自力で読み取っている。 【思】（ワークシート） ◆日清戦争と条約改正の関連をキーワードを用いながら図に表現し、文にまとめている。 ◇日清戦争と条約改正の関連をキーワードを用いて明確にしながら図に表現し、論理的な文にまとめている。
究		日露戦争は、条約改正を成功させるのにどのように役立ったのか。	
		○日露戦争の原因・結果・影響について調べ、発表し合う。 ○日露戦争と条約改正の関連について考え、二つの事象を関連付ける。【段階②③④】	○戦争の原因・結果・影響をとらえられるようにするために、義和団事件の絵図、日露戦争の風刺画、日露戦争の図、ポーツマス条約、日比谷焼き討ち事件、南満州鉄道などの資料から気付いたことや調べたことを発表させ、それに対して、さらに掘り下げる発問をする。 ○日露戦争と条約改正を<u>つなげる事象（キーワード）については、一つは考えさせ、その他は指定して付箋に書かせる</u>。そして、それらを矢印でつなげさせ日露戦争と条約改正の関連を図に表現させる。また、この図を基に文にまとめさせる。 【資】（観察・ノート） ◆友達と意見交換しながら、日露戦争の原因・結果・影響を教科書や資料集などの資料から読み取っている。 ◇日露戦争の原因・結果・影響を教科書や資料集などの資料から自力で読み取っている。 【思】（ワークシート） ◆日露戦争と条約改正の関連をキーワードを用いながら図に表現し、文にまとめている。 ◇日露戦争と条約改正の関連をキーワードを用いて明確にしながら図に表現し、論理的な文にまとめている。
		韓国併合は、条約改正を成功させるのにどのように役立ったのか。	
		○韓国併合の原因・結果・影響について調べ、発表	○韓国併合の原因・結果・影響をとらえられるようにするために、伊 【資】（観察・ノート） ◆友達と意見交換しながら、韓

		「なぜ、日本は条約改正を成功させることができたのだろう」についてまとめよう。	
ま と め る	1	○「追究する過程」で作成した図を単元全体図にまとめる。【段階⑤】 ○単元全体図を俯瞰し、広い範囲で歴史的事象間の関連付けを行う。【段階⑥】	○日清戦争と単元の課題の関連を例に、単元全体図のまとめ方を例示することによって、単元全体図のまとめ方が分かるようにする。 ○日清戦争の勝利と産業の発達の関連を例に、関連付けを図に表現する方法（矢印で結ぶ）を例示することによって、広い範囲での歴史的事象間の関連を図に表現できるようにする。 ○日清戦争の勝利と産業の発達の関連を例に、関連付けを文にまとめる方法を例示することによって、広い範囲での歴史的事象間の関連を文にまとめることができるようにする。 【知】（ワークシート） ◆二つ以上の視点から歴史的事象間で関連付けを行うことによって、戦争の勝利、領土や資源の獲得、産業・科学技術の発達などから国力を充実させ、国際的な地位を向上させたことで日本が条約改正を成功させたことを理解している。 ◇五つ以上の視点から歴史的事象間で関連付けを行うことによって、戦争の勝利、領土や資源の獲得、産業・科学技術の発達などから国力を充実させ、国際的な地位を向上させたことで日本が条約改正を成功させたことを理解している。
		検証③「まとめる過程」において、「追究する過程」で作成した歴史的事象と単元の課題の複数の関連図を単元全体図にまとめ、さらに、単元全体を通して広い範囲で歴史的事象間の関連付けを行うことは、歴史的事象を多面的・多角的にとらえて関連付ける力を高めるのに有効であったか。	

V 本時の学習(本時は第1／7時)

1 ねらい

「なぜ、日本は条約改正を成功させることができたのだろう」という単元の課題をつかみ、それに対して複数の視点から予想を立てることができる。

2 準備

教師：ワークシート、パソコン、プロジェクタ、スクリーン、

生徒：教科書、資料集、ノート

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	評価の観点・評価項目・評価方法 (◆：おおむね満足できる ◇：十分満足できる)
1 日本が独立主権国家になるためには、条約改正が大きな課題であったことを確認する。	15	・日本にとって条約改正が大きな課題であることをとらえられるようにするために、ノルマントン号事件や国内産業の不振を通して、治外法権を認めることや関税自主権がないことが、独立主権国家を目指す国としては大きな欠陥であったことを説明する。	【関】 ◆独立主権国家になるために条約改正が大きな課題となっている明治期の日本に興味・関心を示しながら聞いている。 ◇独立主権国家になるために条約改正が大きな課題となっている明治期の日本に興味・関心を示し、気付きや感想を発表しながら聞いている。 (観察・ノート)
2 政府の近代化政策を復習しながら、改正交渉の経過と明治の終わりに条約改正に成功したことについて説明を聞く。	15	・明治の後半期に条約改正に成功したことをとらえられるようにするために、明治の近代化政策が書かれている年表に条約改正交渉の結果を重ねて提示する。	
単元の課題：なぜ、日本は、条約改正を成功させることができたのだろう。			
3 単元の課題と年表中の歴史的事象の関連を予想し、伝え合う。	15	・予想を立てやすくするために、「日本がどんな国になったから欧米は条約改正に応じたのだろうか」と異なる視点から課題を投げかける。 ・予想が書けない生徒が書けるようにするために、書けた生徒の予想をいくつか紹介する。 ・様々な視点からの予想に気付けるようにするために、周りの生徒同士で予想を伝え合わせる。 ・自分が立てた予想と区別するために、自分の予想を伝え合った後に新たに気付いた予想は赤で書かせる。	【思】 ◆単元の課題と年表中の歴史的事象の関連を二つの視点から予想してノートに書いている。 ◇単元の課題と年表中の歴史的事象の関連を三つ以上の視点から予想してノートに書いている。 (ワークシート)
4 今後の学習の見通しをもつ。	5	・戦争、領土の拡大、産業・科学技術の発達などの視点から単元の課題を追究していくことを確認する。	

1891

条約改正交渉・・・×

失敗する。

1892

伝染病研究所が設立される。

北里柴三郎・志賀潔が活躍する。

1894

条約改正交渉・・・△

治外法権の撤廃に成功する。

1894

日清戦争

下関条約で、朝鮮の独立を認めさせる。
また、領土や賠償金を手に入れる。

1896

豊田佐吉が自動織機を開発する。

綿織物が機械で作れるようになる。

1901

八幡製鉄所が開業する。

大量の鉄が作れるようになる。

1904

日露戦争

ポーツマス条約で、朝鮮を日本の勢力下に置く。
また、南満州の鉄道や南樺太を手に入れる。

1910

韓国併合

韓国が日本の領土となる。

1911

条約改正交渉・・・○

関税自主権を回復し、条約改正を成功させる。

V 本時の学習(本時は第2／7時)

1 ねらい

日清戦争の原因・結果・影響について調べ、日清戦争と条約改正を関連付けることができる。

2 準備

教師：ワークシート、付箋、パソコン、プロジェクタ、スクリーン

生徒：教科書、資料集、ノート

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	評価の観点・評価項目・評価方法 (◆：おおむね満足できる ◇：十分満足できる)
1 本時のめあてをつかむ。	5	・前時で予想として出された日清戦争と条約改正の関連を想起させ、戦争の視点から単元の課題を追究することを告げる。	
日清戦争は、条約改正を成功させるのにどのように役立ったのだろうか。			
2 日清戦争の原因・結果・影響について調べ、発表し合う。	25	・日清戦争の風刺画や絵図などから気付いたことを発表させたり、教科書の文章を読み取らせたりすることによって、日本、ロシア、清の各国が朝鮮半島に勢力を伸ばそうとしていることをとらえられるようにする。 ・教科書の下関条約の文章を読み取らせることによって、日本が朝鮮半島を独立させたこと、遼東半島、台湾などの領土を獲得したこと、賠償金を手に入れたことをとらえられるようにする。 ・列強の中国分割の図から三国干渉により遼東半島を清に返還しなければならなかったことやその遼東半島をロシアが租借したことに気付かせ、ロシアと対立を深めたことをとらえられるようにする。 ・賠償金の使い道のグラフについて気付いたことを発表させたり、教科書の文章を読み取らせたりすることにより、賠償金が軍の強化に使われたり、八幡製鉄所の建設に使われたりして、日本の国力を高めるのに役立ったことをとらえられるようにする。	【資】 ◆友達と意見交換をしながら、日清戦争の原因・結果・影響などを教科書や資料集などの資料から読み取っている。 ◇日清戦争の原因・結果・影響などを教科書や資料集などの資料から自力で読み取っている。 (観察・ノート)
3 日清戦争と条約改正の関連について考え、二つの事象を関連付ける。	20	・日清戦争と条約改正をつなげる事象(キーワード)をすべて指定して付箋に書かせる。そして、それらを矢印でつなげさせ、二つの事象の関連を図に表現させる。 ・自分の考えを図に表現できた生徒には、できた生徒同士で意見交換をさせる。 ・ほとんどの生徒が自分の考えを図に表現したのを確認した後、適切な関連付けを示す。 ・作成した図を基に、日清戦争と条約改正の関連を文にまとめさせる。 ・早く書けた生徒の文を紹介することによって、関連付けの文ができていない生徒の参考になるようにする。	【思】 ◆日清戦争と条約改正の関連をキーワードを用いながら図に表現し、文にまとめている。 ◇日清戦争と条約改正の関連をキーワードを用いて明確にしながら図に表現し、論理的な文にまとめている。 (ワークシート)

条 約 改 正 に 成 功 し た。

進んだ国になる（近代化）

年 組 （ ）

日清戦争で（ ）

V 本時の学習(本時は第3／7時)

1 ねらい

日露戦争の原因・結果・影響について調べ、日露戦争と条約改正を関連付けることができる。

2 準備

教師：ワークシート、付箋、パソコン、プロジェクタ、スクリーン

生徒：教科書、資料集、ノート

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	評価の観点・評価項目・評価方法 (◆：おおむね満足できる ◇：十分満足できる)
1 本時のめあてをつかむ。	5	・第1時で予想として出された日露戦争と条約改正の関連を想起させ、戦争の視点から単元の課題を追究することを告げる。	
日露戦争は、条約改正を成功させるのにどのように役立ったのだろうか。			
2 日露戦争の原因・結果・影響について調べ、発表し合う。	25	・日露戦争の風刺画や写真、絵図などから気付いたことを発表させたり、教科書の文章を読み取らせたりすることによって、戦争の原因が義和団事件とそれをきっかけとしたロシアの満州への進出にあること、また、義和団事件における日本の活躍が欧米に認められたことやその活躍をきっかけに日英同盟が成立したことをとらえられるようにする。 ・教科書のポーツマス条約の文章を読み取らせることによって、日本の朝鮮における優越権が承認されたこと、日本は長春・旅順間の鉄道、旅順・大連の租借権、南樺太などを得たことをとらえられるようにする。 ・日露戦争の被害を示す資料とポーツマス条約の内容を関連付けることによって賠償金が得られなかったことに不満をもち、国民が日比谷焼き討ち事件を起こしたことをとらえられるようにする。 ・教科書の文章や補助資料からポーツマス条約で得た鉄道を南満州鉄道株式会社として炭鉱や製鉄所などを経営し、産業の発達につながったことをとらえさせる。	【資】 ◆友達と相談しながら、日露戦争の原因や結果、影響などを教科書や資料集などの資料から読み取っている。 ◇日露戦争の原因や結果、影響などを教科書や資料集などの資料から自力で読み取っている。 (観察・ノート)
3 日露戦争と条約改正の関連について考え、二つの事象を関連付ける。	20	・日露戦争と条約改正をつなげる事象(キーワード)については、一つは考えさせ、その他は指定して、付箋に書かせる。そして、それらを矢印でつなげさせ、二つの事象の関連を図に表現させる。 ・自分の考えを図に表現できた生徒には、できた生徒同士で意見交換をさせる。 ・ほとんどの生徒が自分の考えを図に表現したのを確認した後、適切な関連付けを示す。 ・作成した図を基に、日露戦争と条約改正の関連を文にまとめさせる。 ・早く書けた生徒の文を紹介することによって、関連付けの文ができていない生徒の参考になるようにする。	【思】 ◆日露戦争と条約改正の関連をキーワードを用いながら図に表現し、文にまとめている。 ◇日露戦争と条約改正の関連をキーワードを用いて明確にしながら図に表現し、論理的な文にまとめている。 (ワークシート)

条 約 改 正 に 成 功 し た。



進んだ国になる（近代化）

年 組 （ ）

日露戦争で（ ）

V 本時の学習(本時は第4／7時)

1 ねらい

韓国併合の原因・結果・影響について調べ、韓国併合と条約改正を関連付けることができる。

2 準備

教師：ワークシート、付箋、パソコン、プロジェクタ、スクリーン

生徒：教科書、資料集、ノート

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	評価の観点・評価項目・評価方法 (◆：おおむね満足できる ◇：十分満足できる)
1 本時のめあてをつかむ。	5	・第1時で予想として出された韓国併合と条約改正の関連を想起させ、領土拡大の視点から単元の課題を追究することを告げる。	
韓国併合は、条約改正を成功させるのにどのように役立ったのだろうか。			
2 韓国併合の原因・結果・影響について調べ、発表し合う。	25	・伊藤博文の写真や絵図などから気付いたことを発表させたり、教科書の文章を読み取らせたりすることによって、伊藤博文暗殺をきっかけとして日本が韓国を併合したことをとらえられるようにする。 ・教科書の文章を読み取らせたり韓国併合後の韓国国内の様子の写真などから、日本の韓国における政策を韓国人の立場、日本人の立場の両面からとらえられるようにする。 ・朝鮮総督府の写真や資源の輸入のグラフ、鉱工業の生産の変化のグラフから気付いたことを発表させたり、教科書の文を読み取らせたりすることによって、韓国を支配するために朝鮮総督府を置いたこと、領土拡大により鉄鉱石などの資源を手に入れられるようになり、さらに、産業(工業)が発達したことをとらえられるようにする。	【資】 ◆友達と意見交換をしながら、韓国併合の原因や結果、影響などを教科書や資料集などの資料から読み取っている。 ◇韓国併合の原因や結果、影響などを教科書や資料集などの資料から自力で読み取っている。 (観察・ノート)
3 韓国併合と条約改正の関連について考え、二つの事象を関連付ける。	20	・韓国併合と条約改正をつなげる事象(キーワード)については、二つは考えさせ、その他は指定して付箋に書かせる。そして、それらを矢印でつなげさせ、二つの事象の関連を図に表現させる。 ・自分の考えを図に表現できた生徒には、できた生徒同士で意見交換をさせる。 ・ほとんどの生徒が自分の考えを図に表現したのを確認した後、適切な関連付けを示す。 ・作成した図を基に、韓国併合と条約改正の関連を文にまとめさせる。 ・早く書けた生徒の文を紹介することによって、関連付けの文ができていない生徒の参考になるようにする。	【思】 ◆韓国併合と条約改正の関連をキーワードを用いながら図に表現し、文にまとめている。 ◇韓国併合と条約改正の関連をキーワードを用いて明確にしながら図に表現し、論理的な文にまとめている。 (ワークシート)

条 約 改 正 に 成 功 し た。

進んだ国になる（近代化）

韓国併合

年 組 ()

V 本時の学習(本時は第5／7時)

1 ねらい

産業・科学技術の発達について調べ、産業・科学技術の発達と条約改正を関連付けることができる。

2 準備

教師：ワークシート、付箋、パソコン、プロジェクタ、スクリーン

生徒：教科書、資料集、ノート

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	評価の観点・評価項目・評価方法 (◆：おおむね満足できる ◇：十分満足できる)
1 本時のめあてをつかむ。	5	・第1時で予想として出された産業・科学技術の発達と条約改正の関連を想起させ、産業・科学技術の発達の視点から単元の課題を追究することを告げる。	
産業・科学技術の発展は、条約改正を成功させるのにどのように役立ったのだろうか。			
2 産業・科学技術の発達について調べ、発表し合う。	25	・教科書や写真などの資料から伝染病研究所の設立をきっかけに北里柴三郎のペスト菌発見、志賀潔の赤痢菌発見、野口英世の黄熱病研究など世界的な研究が行われたことをとらえられるようにする。 ・鉱工業の生産の変化のグラフや教科書の文から豊田佐吉による自動織機の開発をきっかけに、綿織物の生産が伸び、日清戦争後、輸出されるようになったことをとらえられるようにする。 ・写真や鉱工業の生産の変化のグラフ、教科書の文から日清戦争の賠償金で八幡製鉄所をつくり鉄を大量生産できるようになりそれによって、兵器、鉄道、造船業などが発達したことをとらえられるようにする。	【資】 ◆友達と意見交換しながら、産業・科学技術の発達について教科書や資料集などの資料から読み取っている。 ◇産業・科学技術の発達について教科書や資料集などの資料から自力で読み取っている。 (観察・ノート)
3 産業・科学技術の発達と条約改正の関連について考え、二つの事象を関連付ける。	20	・産業・科学技術の発達と条約改正をつなげる事象(キーワード)については、三つは考えさせ、その他は指定して付箋に書かせる。また、それらを矢印でつなげさせ、二つの事象の関連を図に表現させる。 ・自分の考えを図に表現できた生徒には、できた生徒同士で意見交換をさせる。 ・ほとんどの生徒が自分の考えを図に表現したのを確認した後、適切な関連付けを示す。 ・作成した図を基に、産業・科学技術の発達と条約改正の関連を文にまとめさせる。 ・早く書けた生徒の文を紹介することによって、関連付けの文ができていない生徒の参考になるようにする。	【思】 ◆産業・科学技術の発達と条約改正の関連をキーワードを用いながら図に表現し、文にまとめている。 ◇産業・科学技術の発達と条約改正の関連をキーワードを用いて明確にしながら図に表現し、論理的な文にまとめている。 (ワークシート)

条 約 改 正 に 成 功 し た。



進んだ国になる（近代化）

年 組 （ ）

伝染病研究所の設立

豊田式自動織機の開発

八幡製鉄所の開業

産業・科学技術の発達

V 本時の学習(本時は第6／7時)

1 ねらい

戦争や産業の発達による国民への負の影響について調べ、国民の負担、苦労、犠牲と条約改正を関連付けることができる。

2 準備

教師：ワークシート、付箋、パソコン、プロジェクタ、スクリーン

生徒：教科書、資料集、ノート

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	評価の観点・評価項目・評価方法 (◆：おおむね満足できる ◇：十分満足できる)
1 本時のめあてをつかむ。	5	・「貧国強兵」の風刺画をプロジェクタで提示することによって戦争に勝ち、産業を発達させ近代化した日本が「貧国」とはどのような意味なのか、何を風刺しているのかについて考えさせる。	
戦争の勝利や産業の発達の影で、国民には、どんな負担や苦労、犠牲があったのだろうか。			
2 戦争による国民の負担や産業の発達による国民の苦労、犠牲について調べ、発表し合う。	25	・増税を風刺したポスターや租税の負担額の変化のグラフなどから増税により軍事費を増やし、軍を強化したことをとらえられるようにする。 ・製糸工場の写真や女工の一日の労働時間のグラフ、教科書の文から、小作人の次男や娘を中心に工場で低賃金・長時間労働で働いたことにより工場が発達した側面もあることをとらえられるようにする。 ・足尾銅山の写真や絵地図から、足尾銅山で大量の銅を生産し、工業を発達させたが、その影響で鉱毒による公害が発生したことをとらえられるようにする。	【資】 ◆友達と意見交換しながら、戦争や産業の発達による国民への負の影響を教科書や資料集などの資料から読み取っている。 ◇戦争や産業の発達による国民への負の影響を教科書や資料集などの資料から自力で読み取っている。 (観察・ノート)
3 国民の負担、苦労、犠牲と条約改正の関連を考え、二つの事象を関連付ける。	20	・国民の負担や苦労、犠牲と条約改正をつなげる事象(キーワード)については、四つは考えさせ、その他は指定して付箋に書かせる。そして、それらを矢印でつなげさせ、二つの事象の関連を図に表現させる。 ・自分の考えを図に表現できた生徒には、できた生徒同士で意見交換をさせる。 ・ほとんどの生徒が自分の考えを図に表現したのを確認した後、適切な関連付けを示す。 ・作成した図を基に、日本の近代化と社会問題の関連を文にまとめさせる。 ・早く書けた生徒の文を紹介することによって、関連付けの文ができていない生徒の参考になるようにする。	【思】 ◆国民の負担、苦労、犠牲と条約改正の関連をキーワードを用いながら図に表現し、文にまとめている。 ◇国民の負担、苦労、犠牲と条約改正の関連をキーワードを用いて明確にしながら図に表現し、論理的な文にまとめている。 (ワークシート)

条 約 改 正 に 成 功 し た。



進んだ国になる（近代化）

年 組 （ ）

国民の負担

国民の苦勞

国民の犠牲

V 本時の学習(本時は第7/7時)

1 ねらい

単元全体図を俯瞰し、広い範囲で歴史的事象間の関連付けを行うことを通して、戦争の勝利、領土や資源の獲得、産業・科学技術の発達などから国力を充実させ、国際的な地位を向上させたことで日本が条約改正を成功させたことを理解する。

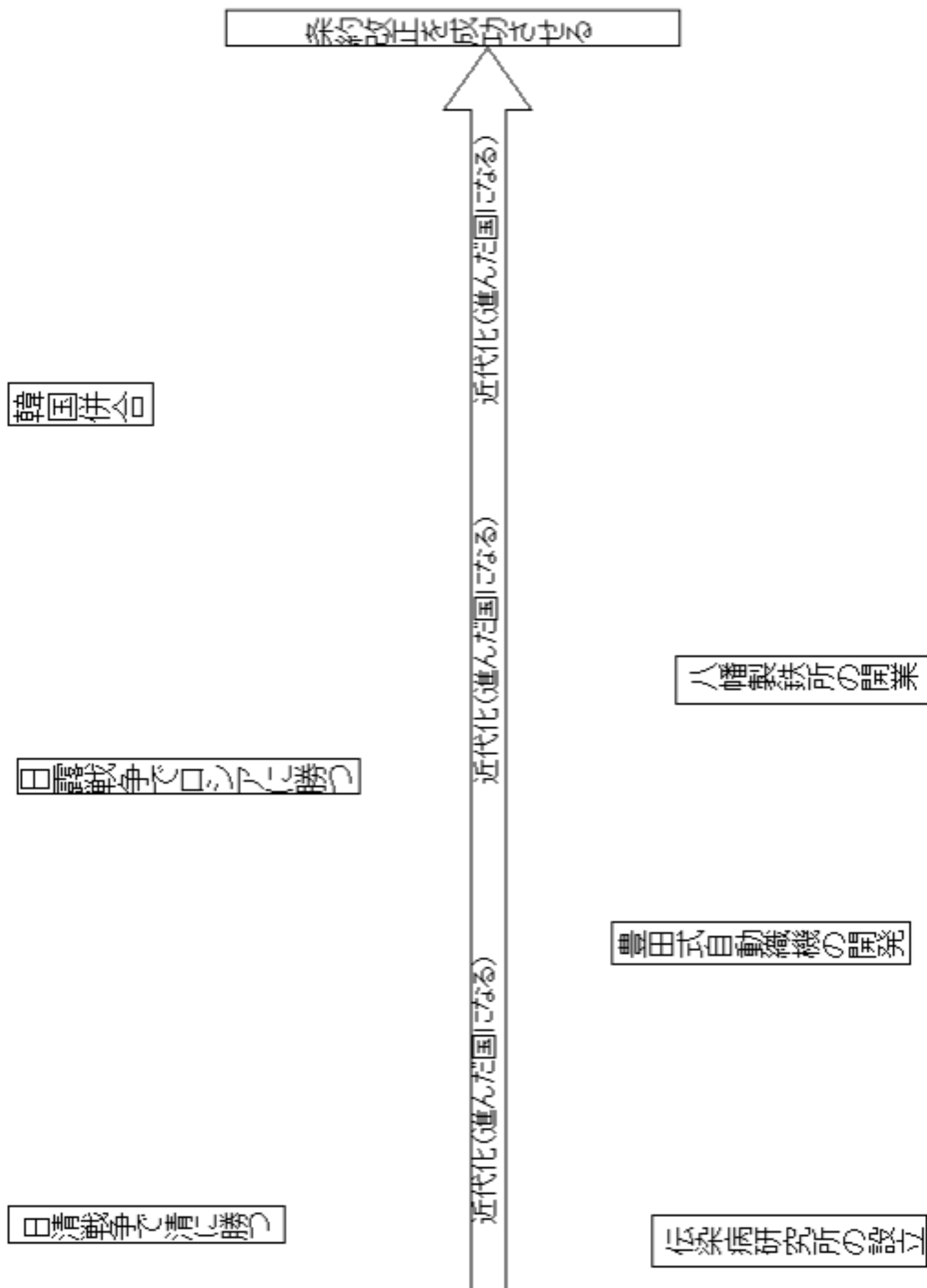
2 準備

教師：ワークシート、パソコン、プロジェクタ、スクリーン

生徒：教科書、資料集、ノート、

3 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援の工夫	評価の観点・評価項目・評価方法 (◆：おおむね満足できる ◇：十分満足できる)
1 本時のめあてをつかむ。	5	・「追究する過程」で作成した図(関連図)を一つの単元全体図にまとめることによって、広い範囲で歴史的事象間の関連付けを行うことを伝える。	
「なぜ、日本は条約改正を成功させることができたのだろう」についてまとめよう。			
2 「追究する過程」作成した図を単元全体図にまとめる。	20	・日清戦争と単元の課題の関連を例に、単元全体図のまとめ方を例示することによって、単元全体図のまとめ方が分かるようにする。 ・例示と同様に、日露戦争、韓国併合、産業・科学技術の発達と単元の課題の関連をまとめさせる。 ・必要なキーワードがない生徒には、付箋にキーワードを書かせ図に付け足させる。	
3 単元全体図を俯瞰し、広い範囲で歴史的事象間の関連付けを行う。	25	・日清戦争の勝利と産業の発達の関連を例に、関連付けを図に表現する方法(矢印で結ぶ)を例示することによって、広い範囲での歴史的事象間の関連を図に表現できるようにする。 ・関連付けられる事象(キーワード)を七つ示し、限定することによって、関連付けをしやすくする。 ・周辺の生徒と相談させたり、教師が助言したりすることによって、広い範囲での歴史的事象間の関連を図に表現できるようにする。 ・日清戦争の勝利と産業の発達の関連を例に、関連付けを文にまとめる方法を例示することによって、広い範囲での歴史的事象間の関連を文にまとめることができるようにする。 ・歴史的事象間の関連を文にまとめることができた生徒を数名指名し、その文を読み上げさせることによって、できなかった生徒も文にまとめることができるようにする。	【知】 ◆二つ以上の視点から歴史的事象間で関連付けを行うことによって、戦争の勝利、領土や資源の獲得、産業・科学技術の発達などから国力を充実させ、国際的な地位を向上させたことで日本が条約改正を成功させたことを理解している。 ◇五つ以上の視点から歴史的事象間で関連付けを行うことによって、戦争の勝利、領土や資源の獲得、産業・科学技術の発達などから国力を充実させ、国際的な地位を向上させたことで日本が条約改正を成功させたことを理解している。 (ワークシート)



※関連付けた結果を文にまとめよう 年 組（ ）

日本が欧米から認められるようになった理由は、次の通りである。

以上から、日本は、欧米から認められる国になり、条約改正を成功させることができた。

また、これまでの学習をまとめてみて、関連付けで新たに気付いたことは、次の通りである。
